



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

## 令和4年度厚生労働省看護職員確保対策特別事業 日本のお産をまもれ 第2弾 院内助産・助産師外来推進フォーラム 1月29日(日) オンライン開催

公益社団法人日本看護協会（会長・福井トシ子、会員77万人）は、院内助産・助産師外来推進フォーラムを、2023年1月29日（日）にオンライン開催（ライブ配信）いたします。

国は2008年以降、産科医師の業務負担軽減や地域の妊産褥婦の多様なニーズへの対応を目的に「院内助産・助産師外来」の推進を図ってきました。

日本看護協会では、国の動きを受け、2011～2013年に3カ年計画で院内助産を推進する事業に取り組むとともに、「日本のお産を守れ！プロジェクト」というメッセージを掲げ、助産実践能力の強化事業を展開しました。2018年には「院内助産・助産師外来ガイドライン」を作成し、普及に努めています。

現在、わが国では、出産年齢の高齢化、出生数の減少、分娩取扱施設の集約化等、周産期医療の背景が変化し、妊娠期から子育て期における切れ目のない安全・安心な医療・助産ケア提供体制の整備が求められています。

助産師による継続的な支援が提供される院内助産・助産師外来は、より一層の推進が必要です。

そこで、このたび、関係者が一堂に会し情報交換・意見交換等を行う機会として、「日本のお産をまもれ 第2弾」と題し、同フォーラムを開催する運びとなりました。日本のお産を守るため、妊産褥婦とその家族の笑顔を守るために、妊産褥婦さんに寄り添い支援する院内助産・助産師外来の推進を目的に開催します。



つきましては、本フォーラムの趣旨をご理解いただき、ぜひご取材いただきますようお願い申し上げます。記者・編集者の皆さまにおかれましては、下記特設サイト・申込フォーム内の「勤務先」欄で、「マスコミ（新聞社、出版社、テレビ局、WEBメディア等）」を選択の上、お申し込みください。

### ◆開催概要◆

- 【日 時】1月29日（日）12：30～16：05
- 【対 象】分娩取扱医療機関の看護管理者、医師、助産師、看護師、都道府県・市町村行政の周産期・母子保健担当の方など
- 【定 員】3,000人（先着順） （次頁に続く）

# News Release 取材のお願い

報道関係者各位

公益社団法人 日本看護協会 広報部

2023年1月23日

(前頁より続き)

- 【参加費】無料
- 【開催方法】オンライン(ライブ配信・Zoom ウェビナー)
- 【申込方法】特設サイトよりお申込み(1月27日17:00締切、先着順)  
[https://www.stage.ac/osanmamore\\_forum2/](https://www.stage.ac/osanmamore_forum2/)

【院内助産・助産師外来推進フォーラム運営事務局】

TEL: 03-5917-0203

Eメール: osanmamore@stage.ac

(受付時間:10:00-18:00 ※土日祝を除く)

※特設サイトからのお申込みに関してご不明な点等ございましたら、運営事務局までお問い合わせください。

- 【主催】公益社団法人日本看護協会  
(令和4年度厚生労働省看護職員確保対策特別事業)
- 【後援】公益社団法人日本産婦人科医会、公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会

## ■院内助産・助産師外来 PRポスター

本事業の一環として、妊産婦とその家族に向けて、院内助産・助産師外来を実施している旨を周知するために活用いただける、院内掲示用ポスター(PDF)を作成いたしました。特設サイト内よりダウンロードできます。貴媒体読者の皆さまにぜひご案内ください。



## ■厚生労働省ホームページ「助産師関連施策について」

本事業は、令和4年度厚生労働省看護職員確保対策特別事業として実施いたします。詳細は以下URLよりご覧ください。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187231.html>